

実施報告書

1 学校名 多治見市立市之倉小学校

2 実施内容

(1) 高速大容量回線を用いた学校間等の連携

テレビ会議システムの活用

7月～8月に次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業を行っている多治見市立池田小学校とテレビ会議システムの使い方の交流会を池田小学校パソコン室で行った。テレビ会議システムのケーブル配線の仕方、各学校のアドレス入力の方法、カメラの操作方法などを確認した。

後日、池田小学校とテレビ会議システムを試験的に行ってみた。テレビモニターに映る池田小学校側の映像と市之倉小学校側の映像はともに鮮明で、音声もはっきり聞き取れることが分かった。また、映像画面の切り替え、テレビカメラのアングルなども実際に操作しながら、それぞれのパソコン室のパソコン配置や掲示物の現状を紹介した。

12月には同事業を行っている多治見市立脇之島小学校とテレビ会議システムを試験的に行った。池田小学校と同様に映像画面、音声ともに鮮明であった。池田小学校、脇之島小学校とのテレビ会議運用のめどがあった。

テレビ会議システムのマニュアル作り

今後、職員にもテレビ会議システムを自ら操作し、テレビ会議が行えるようにするためにマニュアルを作成した。(資料は別紙参照)

(2) 「わかる授業、楽しい授業」の実施

夏休み子どもパソコン教室(絵日記を書こう)

パソコン教室への参加の募集をしたところ、1年生から6年生まで約60名の希望があった。低学年の児童にも分かるように指導資料を使って、文章をパソコンで書く、絵や写真を入れる、マウスの使い方を知るなどを指導していった。操作に手間取る児童もいたが、多くの教師で指導したためスムーズに進めることができた。全員の児童が絵日記を完成させることができ、満足した顔で絵日記を持ち帰った姿が印象的であった。(指導資料は別紙参照)

パソコンを使った委員会発表

保健委員会は、常時活動として体の不調を訴える子の世話を休み時間に行っている。それ以外には、委員会の時間を使って歯みがきの大切さや飲食物が体にどんな影響を与えるのかなどを調べたりしている。11月の全校集会では、保健委員会で調べたり活動してきたりしたことをパソコンで発表した。今回は、ジュースの中にニワトリの骨を入れる実験結果から、砂糖や炭酸のとりすぎはよくないこと、生活アンケート結果から基本的な生活習慣の大切さを訴えた。

プレゼンテーションの資料はパワーポイントで担当教師が作成したが、パソコンの操作や説明は児童が最後まで行った。

(プレゼンテーション資料は別紙参照)

(3) 学校職員の研修の充実

ホームページ作成の研修

児童が学習してきたことをミニホームページを作成して情報発信させるようにし

ていきたい。そのためには教師自らのホームページ作成の指導力が求められる。そこで夏休みにホームページビルダーV6・5を使ってホームページ作成の仕方を研修した。研修内容は次のようである。

- ア、Webサイトとトップページの作成
- ・Webサイトとトップページの新規作成
 - ・作成するトップページを確認する
 - ・ペータイトルと基本色を設定する
 - ・文字を入力する
 - ・Webページを保存する
 - ・WebページとWebサイトを閉じる

- イ、トップページの編集
- ・作成するトップページを確認する
 - ・WebサイトとWebページを開く
 - ・文字に書式を設定する
 - ・ロゴを挿入する
 - ・素材集を利用する
 - ・水平線を挿入する
 - ・配置を変更する
 - ・Webページを保存する

3 成果と課題

テレビ会議システムの基本操作が分かり、テレビ会議の運用のめどが立った。

同事業を行っている池田小学校、脇之島小学校とパソコンを通して交流ができ、連携がより強くなった。

パソコン教室を通して、教師の児童への指導力がついた。また、児童にパソコンの楽しさを味わわせることができた。

初めて委員会の発表をパソコンを使って行った。保健委員会の訴えたいことが、視覚を通して分かりやすく発表でき、全校児童は集中して聞くことができた。

他の委員会でもより有効なパソコン利用を考えていきたい。

リンクの設定、表の作成などホームページ作成の研修をより進めていく必要がある。

4 今後の方向

(1) テレビ会議システムを活用した学校間交流

- ・池田小学校、脇之島小学校とテレビ会議システムを使って、「研究会」「児童会交流」など実施できそうなことを連携して行っていく。
- ・テレビ会議システムの職員研修を行って、全職員が基本的操作になれる。

(2) 「わかる授業、楽しい授業」の実施

- ・いろんな教科でパソコンを使った授業に挑戦する。
- ・総合的な学習におけるデジタルコンテンツ作りをする。